

様式第3号（第4条関係）

会議録

1. 附属機関等の会議の名称

令和2年度 第1回松川町資料館運営委員会

2. 開催日時

令和2年7月10日（金） 17時00分から18時00分まで

3. 開催場所

中央公民館えみりあ ホール

4. 出席者氏名

資料館運営委員

松井悦子 坂本勇治 小平知行 清水稔子 亀山勝保 矢澤登
事務局

塩倉生涯学習課長 松下主事 伊坪主事

5. 協議事項

（1）令和元年度事業報告（別途資料）

（2）令和2年度事業計画（別紙資料）

6. 傍聴人の数

なし

7. 会議資料の名称

- ・ 令和元年度 資料館事業報告
- ・ 令和2年度 第1回松川町資料館運営委員会資料
- ・ 松川町文化財マップ
- ・ ふるさと学習副読本 正誤表

8. 審議の概要

教育長あいさつ

運営委員長あいさつ

令和元年度松川町資料館事業報告について

—事務局より説明—

委員 A：副読本について、友人がよくできているとほめていた。まだ副読本の刊行について知らない人も多く、周知していく必要があるのではないか。

事務局：チャンネルニューの番組制作など、副読本の活用方法も含めてPRしていきたい。

令和2年度松川町資料館事業計画について

—事務局より説明—

委員 B：企画展の「御柱展」について、行われるのは再来年であり、時期を見直してはどうか。

事務局：企画展の時期について見直しをする。

委員 A：古町の俳額とは何か

事務局：古町八幡大神社の社務所に明治15年に奉納された松川町で最も古い部類に属する俳額である。古町地区の地域の人が詠んだ句や有名な俳人の句が書かれており、地域に俳句を楽しむ文化が深く根付いていたことを示すものだ。劣化が激しく、地域住民から保存のため調査の協力の依頼があった。

委員 C：以前より松川町資料館で相談をしてきたが、ある個人住宅から貴重な文書などが発見された。それぞれの文章が戦中戦後の史料として大変貴重なもので、調査をしてもらいたい。

事務局：現在、個人の史料においても資料館に保管されていたものについて調査、整理を行っている。戦中の文書は敗戦後、廃棄されてしまったものも多くあり、残っているのはとても貴重な。近代の史料も保管していけるよう努めていく。

委員 C：そのようにしてほしい。

その他

資料館の休日の管理について事務局より説明

委員 A：窓口事務補助員は土日をお願いしているのか。

事務局：土曜日は資料館主事が出勤し対応している。日曜日と祝日、職員が事務室から一日離れてしまう日をお願いしている。

委員 A：窓口補助員は特別な資格がいるのか。

事務局：特別な資格はいらない。ただし資料館の案内が必要な時は対応できる知識を身につけてほしい。

窓口事務補助員について事務局でも引き続き探していくが、委員においても適任者がいれば事務局に知らせてほしい。

以上